

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (NO.17) 2007.12.20

もくじ

1. 10月度(1) 定期ボランティア活動・報告
＜天津小学校 緑の教室 サポート＞
2. 10月度(2) 定期ボランティア活動・報告
＜秩父演習林見学・“しおじの会”との交流会＞
3. 11月度(1) 定期ボランティア活動
＜秋の研修会聴講およびクラフト用材料集め＞
4. 11月度(2) 臨時ボランティア活動
＜クラフトづくり＞
5. 11月度(3) 定期ボランティア活動
＜秋の一般公開サポート＞
6. 12月度(1) 定期ボランティア活動
＜猪ノ川・郷台林道ハイキングガイド＞
7. 2月度定期ボランティア活動 募集案内
＜歩道標識杭の補修整備＞
8. 平成19年度定期総会・演習林を歩く
＜予定＞

10月度(1) 定期ボランティア活動・報告

～天津小学校 緑の教室サポート～

ボランティア 石川 輝雄

10月19日(金)に清澄管内で地元の鴨川市立天津小学校5年生の生徒を対象にした公開講座 緑の教室(ふれあいポケット)が行われ、ボランティア会としてサポート役に岩崎さんと石川の2名が参加しました。参加者は生徒24名とその保護者や先生を含め、合計54名です。

雨が降るとの予想で屋外での行事を心配しましたが、幸い曇りがちなが雨が降ることもなくスケジュール通り無事に終了しました。

開会式に先立ち森林博物資料館の見学があり、イノシシやシカの実物の剥製にびっくり

したり、化石に興味をもつ子供もいました。

午前9時30分に清澄宿舎の前で開校式が行なわれた後、四班に分かれて演習林の職員に導かれて森林観察（木を倒す作業の見学 東漢森 今澄 荒瀬沢地区をめぐる）と森づくり（清澄寺の千年杉の太さと高さの測定、毘沙門地区の実習地でのコナラのドングリの種まき、ぶり縄による木登り体験）を体験しました。

私の担当は2班で職員の池田先生と午前中は森林観察、午後は森づくりで、岩崎さんは職員の鶴見さんと千年杉の太さと高さの測定の手伝いです。



子供に人気のぶり縄による木登り

特に子供たちが興味を持ったのは“ぶり縄”による木登り体験と昼休みに行った“丸太切り体験”です。“ぶり縄”による木登りは命綱をつけ、ヘルメットをかぶって行きます。命綱は保護者に支えてもらっていますが、連携が悪く、子供が空中に宙ぶらりんになったりしましたがこれも楽しい体験です。“丸太切り体験”はスギやヒノキの丸太を切ります。太いのは直径15cmもあり、切り終わるまでに結構時間がかかりますが、めいめい一生懸命に汗を流し切った自分の丸太を大切に持ち帰っていました。

15時30分に閉校式が行われ、小学生代表のお礼の言葉をもって無事終了しました。

10月度（2）定期ボランティア活動・報告

～秩父演習林見学・“しおじの会”との交流会～

ボランティア 西山康利

昨年の「秋の一般公開」のときに秩父演習林のボランティア団体「しおじの会」が千葉演習林を見学され、当Abies会との交流会を行った時、来年はぜひ秩父演習林において下さいとの招待をいただいていた。その念願が叶い、今年の10月27日、28日に秩父演習林で交流会が実現しました。

私事ですが、秩父方面は初めてで西武池袋線も所沢駅より遠くには行ったことがなかったので大いに期待が膨らみました。

出かける27日には台風20号が突然発生して、しかも関東地方に向かっているとのこと、天候の不安がありましたが館山駅を7時30分発のJRバスに乗り、アクアラインを経由し約2時間でなんとかスムーズに東京駅に到着しました。

待ち合わせて乗車することになっている西武鉄道の特急：池袋発11時30分の“ちち

ぶ13号”に乗車することができ、ここで事務局の石川さん達に会い安堵しました。

西武秩父駅までは途中の飯能駅経由で1時間15分位乗車することですが、かなりの距離があると感じているうち、車窓はどんどん山深くなり房総の山並みとはまるで比較にならないほどの山のボリュームです。しかしながら雨は一段と強くなり、天気については一抹の不安がありました。

集合時間の午後1時少し前に西武秩父駅に到着し、天候が悪いにも拘わらず駅では見覚えのある「しおじの会」の会員が、マイクロバスを準備して暖かく迎えていただきました。

今回の参加者は、Abies会員の相川、岩崎(寿)、石川(輝)、石川(れい)、菊池、気賀(佳)、西山、藤田(和)と会員の紹介者の安武、加納、和波の11名の皆さんに千葉演習林の村川、三次さんで総勢13名です。都合で岩崎、藤田さんは本日夜に現地合流することになります。

マイクロバスに乗り、先ず秩父演習林の事務所に向かいました。事務所は駅から歩いてもすぐという感じの距離にあります。ここで顔合わせを行いました。「しおじの会」専用の建物の広さと設備に驚きました。流石に会員が70名近くになると活動のためにはこの位の施設も必要かと感じました。ここで秩父演習林の概要や2日間の予定等が説明され、和やかに交流会が始まりました。残念ながら雨のため今日予定されていた「入川軌道跡と入川林道沿いの試験地見学」は取り止めとなり、バスでまわることの出来る場所のみの見学となりました。

次に事務所の周辺の案内がありましたが、建物は千葉演習林によく似ていて流石に同じ大正時代に建築したものだと感じました。周辺の樹木や草花は千葉演習林と同じように外来種も含めて多くが植えられていましたが、千葉とは種類がかなり異なるのではないかと思います。

その後雨の中、国道140号線をマイクロバスで本日見学する場所に向かいました。台風が接近しているため雨はかなり強く降り、残念ながら周辺の山々はすっぽりと雲に包まれ見ることは出来ず、ただ明日の台風が少しでも早く過ぎることを祈るばかりでした。

途中「大滝歴史民俗資料館」を見学して、旧大滝村といわれていたこの地域の予備知識を得ました。走る約1時間以上だったと思いますが、途中雁坂トンネル手前の「ループ橋」は雨の中でもスリルある走りだったと思います。

ループ橋を上りきった所に立派な「出会いの丘休憩室」がありその2階に秩父演習林が管理し、ボランティア「しおじの会」の会員がガイドをしている「ワサビ沢展示室」がありました。



ワサビ沢展示室のクマの剥製とわな

この場所は雁坂トンネルを掘った際に出た土砂を埋め立てて整地し、建築したと案内に書かれていました。あいにくの雨でしたが、若い人達が訪れていました。

動物の剥製や足跡、鹿の食害についての説明、甲虫の標本（オサムシは良かった）、花の写真等かなり多い展示物でした。「しおじの会」の会員がいろいろ説明してくれましたが、ここのガイドをするには大分勉強しなければ出来ないと実感します。

宿舎に戻る途中の「栃本関所跡」も見学させていただきました。この関所は戦国の昔甲斐の武田家が秩父方面に進出した時に作られたとのこと。道幅が狭く駐車場が殆ど無い所でしたが、前面に見る深い谷とへばりついたような人家がある雨に煙った山深い風景は印象的でした。

16時半過ぎに川俣学生宿舎に到着し、身の回りを整理した後、大広間で「しおじの会」の方々と円陣を組み、挨拶と自己紹介を行いました。「しおじの会」のメンバーはそれぞれ多趣味で演習林の活動はごく一部に過ぎない様に感じました。

月一回は定期活動を組み出来るだけ多く、メンバー同士の顔合わせが出来るように配慮しているとのこと。作業場所と事務所の間が遠くて移動に1時間近くの時間がかかり実質の作業時間が少なくなることの悩みがある一方、電車で通うメンバーが多いため作業後の酒宴の席を秩父駅周辺で設けることができ、これが活動仲間、職員とのコミュニケーションが図れる大事な席もあるとのことでした。

会員それぞれ独自の考えを持たれているようですが目的が同じなので自然と理解し合えるのではと感じました。活動が生活の一部になっているように感じ、演習林側も会の活動に期待を寄せている事が肌で感じ取れました。

「川俣学生宿舎」への到着が1時間近く早めになったにも拘らず、すでに交流会の準備が出来ていて17時に宴会が食堂で始まりしました。調理は演習林のOBのご夫婦が担当しているとの事、それで早めの到着にも対応が出来たようです。千葉の海中心の料理と異なり、山菜、川魚、特産物と今までには味わったことの無い料理で、残すことなく頂きました。お酒の好きな私には味わったことのない秩父の地酒が美味でした。



交流会では人もご馳走もいっぱい

20時過ぎに秩父演習林の才木さんに出迎いの対応を頂いた岩崎、藤田さんが到着し又一段と盛り上がり、交流会は前回よりさらに賑やかだったかと記憶しております。中締め後サークル同士でさらに酒宴は続いていたようでしたが、流石に疲れて川の流れるの音も気にならず熟睡しました。

翌日は一変して台風一過の快晴。目覚めと共に周辺の山々が目前に迫っていて、水量を

増した谷川の水音が響いています。朝食も夕べのお酒や食事に拘らずとても美味しく頂きました。2日目は「シオジ原生林の見学」が予定され、晴天で本当に良かったと思います。

「川俣学生宿舎」を出て国道140号線沿いから滝川沿いに歩き、「樹木園の見学」と「シオジ原生林」見学組に分かれ林道を歩きました。千葉の山に比べ高低差があり、巨木が多いと感じました。秩父演習林の特徴であるブナ林でブナとイヌブナの見分け方等の説明を聞くがなかなか難しい、ミズナラもコナラに似ているがかなりの大木でした。

春先に来たら新緑と花は素晴らしいのではないかと、再度来春にでも散策したいと希望が湧きました。

しおじの原生林には約1時間程度歩いて到着し、パンフレットにも掲載されている特長のある「シオジの大木」をこの目で確認出来ました。

[注：シオジ（モクセイ科トネリコ属）は塩地または別名コバチという高さ30メートル、直径1.5メートルにもなる落葉高木で関東以西の本州側の山地の谷沿いに分布し、奥秩父や南アルプスの溪畔林に多く分布しています。]

本来であればこの林道は周遊コースになっているのですが、先が崩落しているため引き返さなければならないとのことで残念でした。



シオジの大木の下で



ワサビ沢展示室からの眺め

宿舎に戻り関係者に挨拶をしてから、再度「出会いの丘休憩所」に向かい現地で昼食を食べました。紅葉には少し早いという感じでしたが、雁坂嶺全体の景色は雄大で素晴らしく感じます。

「ワサビ沢展示室」では実際に「しおじの会」の方々が一般客にガイドしており、昨年まで千葉演習林に居られた算用子さんに久しぶりに会えました。ひと時の休憩を過ごし、雲一つ無い空

にそびえる山々を眺めながら一路西武秩父駅に戻りました。天気の良いせいか帰路の方が早く到着したように感じました。

「しおじの会」の皆さんにはマイクロバスで駅まで送っていただき、最初から最後まで申し訳ないと思われるほどの気遣いをして頂いたことで大変感激しました。

最後に対応いただいた演習秩父林の才木さんと「しおじの会」の世話人および会の皆さん、同行していただいた千葉演習林の村川、三次さんには心からお礼申し上げます。

11月度(1)定期ボランティア活動・報告

～秋の研修会聴講およびクラフト用材料集め～

ボランティア 恵 京子

石川 輝雄

11月第1回目のボランティア活動が11月7、8日に行われ、7日は恵、石川(輝)、(れい)の3名が参加し、8日には加えて岩崎(寿)さんが参加しました。

7日は秋の山の神様の参拝の日で、いつも千葉演習林教職員の皆さんの研修発表会があり、これを聴講させていただきました。

午前中は日本林学会関東支部大会などで発表された研究の発表、午後は北海道大学、宇都宮大学、京都大学への技術職員研修報告の発表です。

山田林長先生から非破壊で樹木中の腐朽程度を調べることのできる 線樹木腐朽診断器を使い、郷台作業所にあるユリノキの状態を検査した結果の発表がありました。このユリノキの根元の部分の外観ではあまり傷んでいるように思えませんが、中はかなり腐朽が進んでいるようです。

他の皆さんの発表も普段断片的に聞いていることが整理できて大変参考になります。Abiesの皆さんももっと多く聞かれたらいいなと思います。

最後に“大径木にみる伐倒の工夫”という安全教育用DVDを視聴しました。いずれも神業というか、職人芸というかびっくりします。クレーンで大木を吊りながら、その途中に登って行って、空中でチェーンソーで伐る方法が紹介されていましたが、郷台のユリノキなどはこの方法で伐るしかないかという気がしました。

清澄学生宿舎に宿泊して次の日は、クラフト作りの材料集め、木の実や小枝、葉っぱなどを集める作業を行ないました。このクラフトは今月下旬に行われる秋の一般公開のときに千葉演習林公式ガイドを購入していただいた方に差し上げるものです。

前日からのメンバー3名に加えて岩崎さんと、職員の根上、三次さんの6名で活動開始をしました。清澄作業所を9時に出発、まずは札郷作業所の下側にあるムクロジの大木を目指します。例によって札郷の名物犬のメリーが先頭で案内してくれます。

ムクロジは時期が早いのかほとんど落ちてはいませんでした。そのかわり、ふわふわの帽子(殻斗)をかぶった、大きいアカガシのどんぐりをいっぱい集めることが出来ました。その先、郷田倉の杉林の横を通り県道へ出てから川台のつり橋に寄って札郷作業所に戻りました。ここで昼食です。

森の中で見られたものはホウキタケ、ツチグリ、アカモミタケ、ウスヒラタケなどのきのこケンポナシの実、キッコウハグマ、サラシナショウマの花などです。特に倒木に一面に発生していたウス



キッコウハグマの花

ヒラタケは見事でした。

午後は、車で折木沢から入って猪ノ川林道で押し葉に使うための葉を拾います。今夏は猛暑で、秋になってからもいつまでも暖かな日が続いたせいか紅葉が遅く、使えるような葉がなくて、押し葉を作ることは断念しました。

郷台作業所経由で郷台林道に入り、途中で植林したオニグルミの木が育っているのを確認して清澄作業所に戻り解散しました。この途中でリュウキュウマメガキのオレンジ色の実や赤いカマツカの実などがみられました。

11月度(2)臨時ボランティア活動・報告 ～クラフトづくり～

ボランティア 恵 京子

11月16日にクラフト作りのための臨時活動がおこなわれました。緊急の募集でしたので、石川(輝)さんと恵の2名で行う覚悟でしたが、実際は岩崎、石川(輝)、石川(れい)、西山、澤田さんと恵の6名に演習林の村川、三次さんが参加されたので助かりました。

当初計画していた木の葉(紅葉)のクラフトは材料が集まりませんでしたので、前回の活動日(11月8日)に集めた木の実に加えて各自が持ち寄った材料を使って、作ることにしました。

作ったものは

- * ムクロジの実の根付
- * アカガシのどんぐりの根付
- * クヌギのどんぐりの根付
- * サザンカの実の根付
- * 立派なスラッシュ松とヒメコマツのまつぼっくりとノグルミのセット



クラフト作りの様子

- * クヌギ、マテバシイなどのどんぐりの組み合わせセット

で各々チャック付の透明な袋に入れました。時間的に無理がありこの場では中に解説書を入れることができませんでしたが、後日、演習林の根上さん達が Abies の名前を入れたものを作って入れてくれたのですごく見栄えが良くなりました。

他に岩崎さんが木の枝を組み合わせて鳥?を作りました。この場の評価はいま一つでしたが、一般公開の場では大評判になりました。

3時過ぎには作業は終わり、予定の300個を作ることができました。

初めての試みですが、一般公開の場で演習林の公式ガイドの拡販に役立ち、喜んで帰ってもらおうことを期待して楽しいお茶タイムの後、解散となりました。

11月度(3)定期ボランティア活動

～秋の一般公開サポート～

事務局 石川 輝雄



秋の一般公開は11月23日(祝)、24日(土)、25日(日)と12月1日(土)、2日(日)の5日間にわたって行われました。連日天候にめぐまれ、一番の見ものの紅葉も今年は近年になくすばらしい状態で総計7,692名の方々が訪れました。

ボランティア会 Abies としてはサポート役として累計16名、一日平均6名が参加し、今年の Abies 活動のうちでは一番大人数の活動となりました。寒い日もありましたが、参加された皆さんご苦労さまでした。

サポート内容は受付にての入場者のカウント、演習林案内地図の配布、演習林ガイドブック、ポストカード、カレンダーの販売と利用者の誘導やマナー指導などです。

ガイドや説明は他のボランティア団体にまかせていますが、今後、こちらの範囲にも手を広げていけばさらに喜んでもらえるかと思いました。

なお、今年初めて試みとして演習林ガイドブックの販売のため、手作りのクラフトを用意しました。単品で売ってくれないかとの要望があつたりするほどでしたので、それなりの効果は得られたと思われます。

今回は25日に参加された松村さんに感想を書いてもらいました。

秋の公開変化と演習林

ボランティア 松村 聡子

今回私は11月25日に秋の一般公開のお手伝いをさせていただきました。当日は前半3連休のうちで最も暖かかった日だったそうで、晴天のなか少し早めの美しい紅葉とともに楽しく活動することができました。

私の主観的な報告となってしまいますが、その活動の中で3つの「変化」に出会いに驚かされました。

ひとつ目は風景の「変化」です。私は千葉演習林がある千葉県の大学に通っているため、毎日東京から千葉へきています。大学の近くは演習林のような豊かな自然が残されていないため、季節になっても美しい紅葉を楽しむことはなく毎日ほとんど変わらない風景



です。しかし今回の活動で千葉演習林に来て本当に同じ千葉県なのか疑ってしまうほど、大学とはまったく違う美しい風景が広がっていました。毎日通う大学付近の風景と、演習林の豊かな自然のある風景の「変化」には驚かされます。

ふたつ目に「紅葉」自体の「変化」です。「紅葉」と言葉で表されるように、緑だった木々が紅に染まってきます。科学的な説明はさておき、なぜあそこまで綺麗な紅に変わっていくのか。その変化には毎年驚かされます。特に今回の活動では、秋を彩る美しい紅葉への変化を楽しむことができました。

最後に袋山沢水文試験地のスギの「成長」という名の「変化」にも驚かされました。木が成長しないとは思っていませんでしたが、私が初めて演習林に来た高校1年生の時にはもっとはるかに小さかったように思います。見上げるばかりの木が生い茂る演習林の中で唯一自分の目線の高さの試験地の木だったのですが、今や私の背を抜かれてしまいました。四季の眩いばかりの草木の変化は当然あるはずですが、普段あまり変わらない木々の中だとその変化が感じられなくなってしまいます。その様な中で袋山沢水文試験地のスギの木はその成長を身近に感じさせてくれました。演習林も大きな流れのなかで「変化」づけるのだと感じました。

たった1日の活動で多くの「変化」に出会うことができ、たくさんの嬉しい驚きを感じられました。私自身今回の活動を通して「成長」という名の「変化」が起きていたら嬉しいです。

12月度(1)定期ボランティア活動

～猪ノ川・郷台林道ハイキングガイド～

ボランティア 石川 輝雄

12月7日に習志野市屋敷公民館「やしき山歩会」の皆さんへの演習林ガイドを行いました。「やしき山歩会」は屋敷公民館の講座である「千葉県の山歩き」の受講者がつくった会で千葉県山岳連盟の小川秀樹先生の指導のもと月一回程度千葉県の山歩きを楽しんでいる会です。

今回は長崎十字路から猪ノ川林道に入り郷台作業所を経て清澄作業所に抜けるコースを案内しました。

参加者数は20名で京成大久保駅の近くに朝7時30分に集合して、往復には小型のバスで出かけるので、私も最初の京成大久保駅より乗せてもらい、バスの中で事前に演習林やコースの解説をしました。

1週間前の天気予報では、12月7日には雨が降ると予想され、やしき山歩会の会長の遠藤さんも大変心配をしていましたが、案に相違して当日は曇りつつない晴天となり、これ以上の良い天気はないという感じの1日となりました。

バスは時間どおりに出発して、10時近くに亀山湖付近に到着、ダム近くの駐車場でトイレや小川先生の指導のもと準備運動をすませ、出発点の長崎十字路に向かいます。

今回の一番の見どころは紅葉ですが、先日12月2日の一般公開の日が最高の状態でしたのでもう枯れてしまっているのではと心配しましたが、まだ皆さんに十分喜んでもらえる状態が残っていました。黒滝の近くの谷筋の紅葉はむしろ12月2日よりすばらしい感じです。

また一般公開の時に使った説明掲示板が残っていたので、これを使って説明ができたので助かりました。

今回のグループは目的がハイキングということでしたが、演習林の案内受入れの主旨に沿って、自然観察会、環境勉強会という感じの説明にしましたが、結果は非常に満足していただきました。具体的にガイドした項目は演習林と演習林の研究、演習林の地質と生き物、ボランティア会 Abies や公式ガイドブックの販売のPRなどです。

一番盛り上がったのはやはりヤマビルのことでしたが、残念というか、幸いというか、一匹もお目にかかれませんでした。

柚ノ木歩道下を通過し、そのまま郷台宿舎には11時30分頃に到着しましたが、昼食の前に牛蒡沢のスギの美林、相ノ沢スギ栽培品種展示林、モウソウチク開花実験場など、一般公開では見られない演習林の研究場所を見学し、説明をしました。

郷台宿舎のたたずまいも、今回の参加者の年齢の世代には懐かしいと感じた方が多かったと思われます。演習林にお願いして郷台宿舎をあけておいてもらいましたので、室内でゆっくりと昼食をとりました。

一休みして12時45分に郷台宿舎を後にして清澄に向かって出発します。

普段の Abies 活動の時は車に乗って通過するのであまり気がつかないのですが、ここはかなり上り坂が続き、このコースでは唯一汗をかきました。また林道の脇にはモミヤツガ



黒滝の紅葉を見る参加者

の大木があり、その太さを身近に感じられる場所でもあります。

途中から下り坂になると間もなく、元清澄山方面の分岐点にあるゲートが見えてきました。ここから関東ふれあいの道でもある郷台林道を歩きます。この近くで一瞬イノシシが林道を横切りました。

今回のコースの前半は溪谷沿いで日陰が多いのですが、このあたりから展望が開け、陽が当たり暖かく快適に歩けます。途中、鴨川方面の山々の重なる景色やモミやツガの常緑針葉樹天然林、シイやカシの常緑広葉樹天然林、スギやヒノキの人工林などの違いを観察して歩きます。道が平坦なので皆さんの歩き方も自然と早くなりました。



快適な尾根沿いの郷台林道

14時30分頃、郷台林道の入り口側のゲートを通り、終点の清澄作業所に無事到着しました。ここで一息入れた後、森林博物資料館を見学しました。ここには職員の村川さんが待っていてくださり、演習林ガイドや絵葉書の販売もしました。バスの中でも演習林ガイドについては見本をまわして宣伝した効果もあり、6冊購入していただきました。

森林博物資料館で皆さんが一番興味を持たれたのは、直径が私たちの身長よりはるかに太いマツやスギの切断見本で、ここから離れず、他にも珍しいものがありますと促したほどでした。

以上で今回の案内は終わりで上の駐車場で待っているバスに乗って京成大久保駅に向かって帰路に着きました。

今回の案内の場合、出発点から、終点までフルに同行する形にしましたので、演習林あるいは房総の山について十分な案内ができたと思っています。さすがに帰りのバスの中では居眠りをしてしまいましたが、皆さんの満足した様子が感じられて充実した一日でした。

2月度 定期ボランティア活動・募集案内

～ 歩道標識杭の補修整備 ～

2月度の定期ボランティア活動は歩道標識杭の補修整備活動をおこないます。作業歩道はA線（元清澄山分岐 地蔵峠 柚ノ木下）およびJ線（地蔵峠 三石山観音寺）などを予定しています。一般公開などでお馴染みのコースで自然観察コースとしても楽しめる歩道ですので多くの参加をお願いします。

日 時 平成20年 2月 14日(木) ~ 15日(金)(宿泊)

集 合 清澄作業所 14日 9:40 (15日のみの日帰り参加の場合は9:00)

- 解散** 清澄作業所 15日 16:00頃
- 内容** *現場への作業標識杭の設置
(場合によっては他の活動に変わることもあります。)
- 人数** 9名 原則として先着順
- 宿泊場所** 清澄学生宿舎(04-7094-1990)
- 参加費** 2,240円 宿泊費(夕食・朝食・2日目 弁当含む)
- 持ち物** 筆記用具、弁当(1日目のみ) 野外活動ができる服装(防寒衣も)、靴(登山靴などしっかりしたものや地下足袋)、滑り止めつき軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証のコピー、常備薬、マイカップ、会員証、宿泊用持ち物など
- 雨天時** 状況により対応
- 受付期間** 平成20年1月15日(火)~1月31日(水)
- 申込方法** 電話、FAX、E-Mailのいずれかで申込みください。
参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

申込み問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛

平成19年度 定期総会・演習林を歩く ~予定~

平成19年度の千葉演習林ボランティア会 Abies の活動は2月の標識杭の設置作業をもって終了となります。定期総会を3月に開催しますので都合をつけていただき、多くの会員の参加をお願いします。詳細は後日ご案内します。

*定期総会予定日 平成20年 **3月15日**(土)

*演習林を歩く 平成20年 **3月16日**(日)

3月15日の夜に宿泊して懇親会を行う予定です。

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 No.17 2007/12/20 発行

*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102

石川輝雄

*東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321